

一人ひとりは 微力であつても無力ではない

宇都宮弁護士が講演

4月29日長野市ホクト文化ホールで行われた「平和憲法を守り生かす県民大集会」は、栄村の子供たちによる力強い“ふるさと太鼓”で始まりました。

会場にあふれる参加者（2400人）に、記念講演した

日弁連元会長の宇都宮健児さんは次のように訴えました。

・安倍内閣は当面明文改憲を

先送りし、憲法解釈の変更による集団的自衛権行使を強行する構えだ。

・自民党の改憲草案は、立憲主義を放棄し、国民主権・基本的人権の尊重・恒久和平主義を変容させようとして

・自民党の改憲草案は、立憲主義を放棄し、国民主権・基本的人権の尊重・恒久和平主義を変容させようとして



宇都宮健児氏が講演

いる。この憲法改悪を許さないために、あらゆる立場を超えて一点協力・団結することが重要。

・一人ひとりは微力であつても無力ではない。集まれば大きな力になる」と強調しました。

この集会にファンクラブは、バス内で米澤敏夫さんの憲法ミニ講座も行われました。

牛越邦夫

報告 ファンクラブ 小旅行

満蒙開拓平和記念館と松川温泉への旅

5月21日に阿智村の満蒙開拓平和記念館と松川町の松川温泉清流苑に21名で行ってきました。

朝8時に、出発したときには雨が降っていましたが、途中からは青空もののぞき、楽しい一日を過ごしました。

行きのマイクロバスの中で、牛越事務局長が満蒙開拓団について作って来た資料で説明、全員が予備知識を持つて見学できました。

昨年4月に開所、当初は、年間の来館者を5000人と想定していたのが、1年後には3万人を超えたとのこと。

「満蒙開拓平和記念館」は満蒙開拓団に関する記念館や資料館としては全国で初めてのもので、民間運営の施設です。

前もつて館内説明依頼をしてあたので、学芸員から30分くらい、お話を聞くことができました。

本人が、家族が、親戚が満州に渡り入植していたという人たちの来館が多く、最近は就学旅行の生徒も増えているそうです。

記念館内は、当時の映像が流れされ、写真や手紙、資料や住居の模型などが展示されています。

二度と戦争はしない」とい

う原点をもう一度思い返し、行動しなくてはと感じた阿智

学旅行の生徒も増えているそうです。

今まで当時を語れないで心に秘めていた人たちが、「自分が生きている内に真実を伝えよう」と資料提供などがあるそ

うです。

記念館が出来たことにより、

今まで当時を語れないで心に秘めていた人たちが、「自分が生きている内に真実を伝えよう」と資料提供などがあるそ